ヨウラクラン（ラン 科）　　**兵庫県：Aランク**

Oberonia japonica (Maxim.) Makino　　**環境省：－**

種の概要

樹幹または岩上に着生する。茎は長さ1-4cmで束生し、下垂する。葉は4-10個、袴状で左右から扁平、2列に互生し、長さ1-3cm、幅2-5mm、急鋭頭。4-6月、茎頂に長さ2-8cmの花序をつけ、淡黄褐色の小花を多数、密に輪生する。苞は卵状披針形で膜質、長さ0.5-2mm、鋭尖頭。萼片は広卵形、鈍頭、長さ0.5mm。側花弁は卵形、萼片よりわずか短い。唇弁は倒卵円形で先端が3裂し、中裂片はさらに3裂するが、中央の裂片は短い。

写真提供：小林禧樹

国内分布

本州（宮城県以南）、四国、九州、沖縄

県内分布

西播、摂津

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
	○		○			○

特記事項

県内では２ヶ所に知られている。

保護上の留意点

自生地である岩場や樹林の保全が重要である。